

# ほりえ 眞報39号

一般会計 三百六億円  
 新庁舎に15億円余  
 市民病院建設費 18億円増  
 83億円に

平成26年3月議会は3月3日から3月25日まで開催され、25年度補正予算並びに新年度予算が上程されました。補正予算では1億4千万円余を補正、総額約296億円の予算となりました。除雪費に2千6百万円の補正で今年の除雪費総額1億3千万円余となりました。新年度一般会計予算は、総額306億円と大型予算です。主なものは新庁舎に15億円、26、27年度で建設されます。合併10年を迎え、記念行事としてNHKのど自慢に600万円、雲南市の歌制定に210万円など総額約1千8百万円。市道整備に3億8千万円、**たらば老番地**の障がい者用駐車

## 病院 65億から83億円に

市立病院建設計画で大幅増額予算が示され質疑が集中しました。大幅増額の要因は東日本大震災復興事業の本格化、アベノミクスにより建設需要が急増、さらに東京オリンピック・パラリンピックの決定が加わり労働力不足に伴う人件費と資材費の大幅高騰。消費税増額分を3億7千万円と試算。平成29年3月竣工、6月開業する予定。

害鳥獣対策費に1千8百万円。家畜輸送対策緊急支援事業など畜産関係費に1千3百万円余。清風荘整備では今年度320万円の基本設計費が計上されました。このほか教育委員会



「たらば老番地」の障がい者用駐車場。今年着工。要望されていた。必要なら

## 吉田町の町並み 旧田部家屋敷南側白壁



田部家旧屋敷南面、白漆喰塗り壁。手前側が東側。現在水路も整備され田部城下町の趣を醸している。

吉田町の玄関口「稲わら工房」に車を停めると目の前に白壁が目に入る。旧田部家母屋を囲む長屋の南壁面である。元屋敷は元治2年(1865年)「親類から飛脚がやって来て泊まったその夜、不始末をして出火した。火はたちまち全村に広がる大火となった。その後「シマリアイ」をやかましく言われ節儉な家風になった。たとえば昼飯はお茶を使わず代わりにご飯の釜底の焦げに湯をかけて飲んだと云う」(司馬遼太郎砂鉄の道)田部家の家訓は「謙譲・儉約・健康」(謙・儉・健の三憲)母屋はこの大火により焼失し、現在の位置に仮普請された。この南壁の内側は長屋になつており、前を流れる吉田川(現稲わら工房付近)に通じ

## 新市庁舎建設いよいよ着工

裏門と橋があった。裏門の両脇には裏門座敷、町鍛冶事務所、左官小屋、茶方小屋があり、東側の境界に水車と米搗き小屋、大工小屋、桶屋、畳小屋、板小屋、木挽き小屋。西側に鈎道具小屋、味噌部屋、塩・麻部屋などがあつたと云われる。山つつじ満開の吉田公園。聴流閣から吉田町の町並みを一望する。と往時を偲ぶことができる。

新市役所の施工業者も決定し、4月26日起工式並びに安全祈願祭が執り行われます。建築主体工事は鴻池組・都間土建・スヤマ産業JV、落札金額は20億円余。電気設備工事は島根電工・内村電機工務店JVで4億7千万円余。機械設備工事は新和設備・山陰クボタで4億4千万円余。工期はいずれも平成27年8月20日。合わせて国道54号の拡幅及び関連する県道・市道の整備が27年度まで行われます。安全第一、無事故で施工していただきたいと思います。

**編集後記** 穏やかな26年度がスタートしたかと思いきや衝撃的なニュースが飛び込んできました。現役市議会議員の逮捕。市議会の若手として積極的な活動を展開していましたが、にわか信に難く残念な結果になりました。議会の信頼を回復していかねばなりません。また韓国では大惨事が発生しました。お見舞いとお悔やみを申し上げます。雲南市合併から10年。基本に立ち返って慎重且つ着実に行動していきたいものです。